

美術館の活用Q&A

よくある質問、ご相談の紹介です。

? 鑑賞学習の中身

●鑑賞は低学年には無理？

絵を見て話すことが楽しいという思いを、ぜひ低年齢の子どもたちにこそ経験させてあげてください。絵の中の物語や驚きに出会う体験学習の場として、美術館はとても素敵なおところです。

●ピカソの鑑賞学習には専門知識が必要ですか？

絵から自分が受け取った印象や思い描いたことを話す楽しみ、他の人の感想や作家の考えに共感できる喜び、鑑賞の出発点は決して専門家のもものではありません。子どもたちの内面生活やクラスでの取り組みと響き合うような、どんな学びが求められているのか、先生方のご要望や注文をお聞きすることで、私たちも勉強しています。

●年齢に応じた案内はあるのですか？

美術館での見学に消極的な方は、鑑賞を難しく考えて身構えておられるかも知れませんね。美術館では、年齢に応じた支援の提案をさせていただきます。苦手意識のある先生ほど、「来てよかったわあ!」と喜んでくださることもしばしばです。

●年間計画と展覧会のスケジュールが合わない。

美術館での学習は、作品や作家を知ることだけではありません。どのような展示内容でも、実物の作品と出会い、自

分の力でイメージをつかんだり、価値を発見したり交流したりする学習は可能です。「さてどうしよう」から楽しい授業が生まれることも多いと思います。

? 事前の計画

●観覧料について

小・中・高等学校の児童・生徒、これらに準ずる者、引率者が、教育課程に基づく学習活動として観覧するときは、所蔵作品展・特別展の観覧料が免除されます。

※引率者は教職員に限ります。同行の保護者・PTA会員は該当しません。

●免除申請手続き

「観覧料免除申請書」を1週間前までに提出してください。「観覧料免除承認書」をお送りしますので、来館当日に美術館2階受付にお見せください。用紙は連絡いただければお送りします。また美術館のホームページからプリントしていただいても結構です。

●見学は何分くらいが適当かな？

所蔵作品展、特別展それぞれに30分くらいは使えると理想的です。でも一概には言えません。短いなりに、かいつまんだ導入と自由に散策する時間を組み合わせたり、ポイントを絞って解説するなど、いろんな作戦があります。

徳島県立近代美術館

●大人数でも対応してくれる？

もちろん。ロビーなど広い場所でガイダンスを行うなどして、対応します。でも、できればクラスごとに所蔵作品展と特別展に分かれたり、他のグループと時間をずらしたりして、せっかくの見学を落ち着いた時間にできればと思います。

●美術館の裏方の見学はできるの？

できます。巨大な設備、作品を大切に保管する日々の活動をかいまみた子どもたちは、美術館と文化財に対して格別の思いを発見して帰っていきます。

? 見学当日

●いつ行っても解説してくれるの？

できるだけ対応します。でも、どうしても担当者が手をはなせない時はごめんなさい。事前にお知らせいただけたら、準備してお待ちできます。

●美術館ではいけないこと!

大切な文化財を傷めない、楽しんでいる他の人の邪魔をしない、この2つだけです。美術館は思い思いの方法で、思い思いの時間を過ごす場所。そんな公共の場だということを少しずつ学んでいけたらと思います。

●展示室では黙って見るべし？

いいえ、みんなで楽しくお話ししながら、見学していただきたいです。大騒ぎして他の人の迷惑にならないことを、学んでくれたらよいのです。

●騒がしい子どもたちです

子どもたちが自分の力を発揮できる時間を大切にしましょう。見たこともないような作品の迫力や自由さに対面する時、子どもたちは精一杯それを受け止めようとします。先生もそこに共感して下さることが、一番うまくいく道だといつも感じます。

●昼食・トイレ

館内では飲食できません。お弁当は屋外の円形劇場や公園で。広い原っぱや遊具もたくさん。雨天の場合はトラックヤードをお使いいただけます。ちょっとさびしい裏方にござをしいての食事ですが、それもまたよし(?)。廊下に歓声がこだまします。

身障者用トイレが展示室のフロアにあります。

●リュックや水筒の置き場所

ロビーに置いて身軽に鑑賞しましょう。荷物には網をかけてお預かりします。

●鉛筆の使用

展示室での筆記は鉛筆かシャープペンシルをお願いします。

●写真撮影

活動の様子を撮影していただくことができます。美術館の受付でお貸しする、腕章をつけてください。

? 展示解説

●見学メニューを教えてください

例えば次のようなメニューで対応しています。くわしくはご相談ください。

- 1 ロビーでのガイダンス
- 2 クラスごと、少人数で対話をしながら
- 3 「シーがるた」などの人気メニュー
- 4 ワンポイント解説
- 5 ワークシートを使った展示案内
- 6 他の教材をまじえてくわしく学ぶ

●やさしい解説をしてほしい

年齢に応じた分かりやすいガイダンスや説明を行っています。子どもたちが持っている力を使って、鑑賞の楽しさを体験できることが、美術館学習の一番のめあてだと私たちは考えます。どのような支援が適切なのか、先生方のご要望をぜひお聞かせください。

? どんなサポートがあるの

●学芸員の専門分野は？

日本の洋画、日本画、彫刻、版画、写真、西洋美術、現代美術などの分野を担当して研究しています。

●出前してくれるの？

教室での学びの様子や、先生方の実践に出会うことは、学芸員にとって掛け替えのない体験ですし、美術館の面白さを伝えることのできる貴重なチャンスです。お声が掛かるのをお待ちしております！

●絵の指導はしてくれるの？

これが泣きどころで学芸員は絵の先生ではありません。でも作品制作の方法や事例はたくさん紹介できますので、クラスの子どもたちに何が必要か、相談していただければ、お手伝いできることもあると思います。

●掛け図を貸してほしい。

著作権者の許可を得たものについては、美術館で印刷したものをお貸しできます。著作権法では、授業の指導者による複製は許されています。くわしくはお問い合わせください。

●鑑賞シートをもらえるの？

児童・生徒の必要数をお送りできます。

●事前指導

文化財を大切にすること、公共施設におけるマナーについて、事前にお話しただけると助かります。

美術品はこわれやすいものです。うっかり鉛筆やワークシートなどを絵にぶつけないようにしましょう。

お問い合わせ

徳島県立近代美術館

088-668-1088

※学校教育との連携担当まで